



## 岐阜県鉱工業指数(平成22年9月分)

生産指数 前月比 0.9%の上昇

### 1 概況

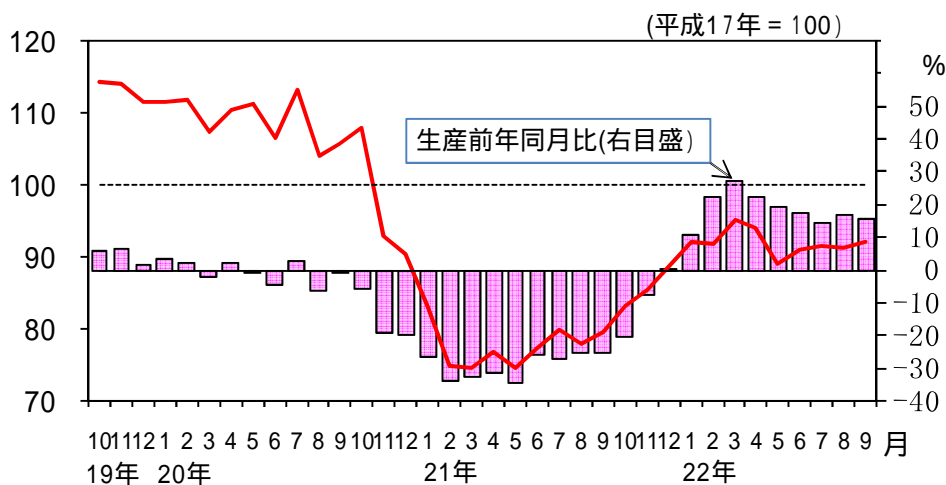
平成22年9月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数でみると、情報通信機械工業、プラスチック製品工業等が低下したものの、化学工業、輸送機械工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は0.9%増と上昇に転じた。また、出荷指数は1.2%減と低下に転じ、在庫指数は3.7%増と3カ月連続で上昇した。

なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は15.6%増となり、10カ月連続で前年を上回った。

(平成17年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	92.0	0.9	95.4	15.6
出荷	92.2	1.2	95.6	15.5
在庫	111.4	3.7	109.5	2.0

鉱工業指数(生産)推移



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。  
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

## 2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、橋りょう、スチール又はステンレスシャッター等が減少したものの、ボルト・ナット、超硬チップ等が増加したため、0.5%増と4カ月連続で上昇した。また、出荷は1.9%増と4カ月連続で上昇し、在庫は25.4%増と上昇に転じた。

機械工業の生産は、研削盤、乗用車ボデー等が増加したものの、携帯電話、旋盤等が減少したため、3.3%減と低下に転じた。また、出荷は5.5%減と低下に転じ、在庫は9.9%増と4カ月ぶりに上昇した。

窯業・土石製品工業の生産は、生コンクリート、タイル（陶磁器製タイル）等が減少したものの、触媒担体・セラミックフィルタ、耐火れんが（不定形耐火物を除く）等が増加したため、0.3%増と4カ月連続で上昇した。また、出荷は2.3%増と前月に引き続き上昇し、在庫は1.0%減と前月に引き続き低下した。

化学工業の生産は、無水酢酸、メラミン樹脂等が減少したものの、医薬品が増加したため、24.2%増と上昇に転じた。また、出荷は23.7%増と上昇に転じ、在庫は2.7%減と低下に転じた。

プラスチック製品工業の生産は、プラスチック製容器、日用品・雑貨プラスチック製品等が増加したものの、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製フィルム等が減少したため、6.1%減と低下に転じた。また、出荷は4.5%減、在庫は4.4%減と、ともに低下に転じた。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)
金属製品工業	96.8	0.5	9.9	95.7	1.9	6.6	105.0	25.4	51.5
機械工業	88.7	3.3	23.9	91.7	5.5	24.6	131.2	9.9	4.2
一般機械工業	78.2	0.1	50.5	90.3	11.5	56.8	-	-	-
電子部品・デバイス工業	86.3	6.5	4.0	88.1	6.7	4.2	-	-	-
輸送機械工業	106.3	3.2	19.1	100.8	1.5	20.4	-	-	-
窯業・土石製品工業	75.3	0.3	8.8	74.5	2.3	7.8	79.4	1.0	9.7
化学工業	119.9	24.2	38.0	117.6	23.7	35.9	98.8	2.7	7.9
プラスチック製品工業	93.6	6.1	0.7	100.7	4.5	3.0	80.3	4.4	4.2

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

